

「あっ！危ない！」

見通しの悪い道を歩いている途中、不意に自転車が飛び出して来て、あと一步でぶつかりそうになったら、あなたはどんな行動を取りますか？身体をギュッと緊張させて、口からは「あっ！危ない！」という言葉も、とっさに出てくるかもしれません。

危険が迫った時にとっさに出てくる態度や言葉には、その場所、その瞬間、心に思ったことがそのまま現れます。

日常生活を送っている時は、様々な思いや計^{はか}らいが私たちを惑^{まど}わしています。例えば、事実ではないことを話して嘘をつくことがあります。あるいは心に抱いた気持ちとは違う表情をして、その場を誤魔化すこともあります。

今日は九月一日です。今から九十年前にあたる大正十二年 西暦一九二三年の今日、相模湾を震源域とする関東大震災が起こりました。発生時刻は午前十一時五十八分。お昼時であったことから多くの場所で火が使われている時間帯に重なりました。地震に伴って発生した火事が被害を拡大させ、人的被害だけでも、死者・行方不明者十五万人もの大災害となりました。

私たちはこの日を「防災の日」と定め、防災意識を高める日としています。

そして近い将来、高い確率で発生するとされる大地震、関東においては首都直下型地震や東海地震への備えをしています。

是非、災害への備えをもう一度確認しましょう。

緊急避難袋の準備、火災報知機や消火器の設置、避難場所の確認、更に地域での助け合いなどが一般的には考えられています。

これらの備えをした上で、もうひとつ確認しなければならないことがあります。とっさの大災害に遭遇した時、私たちは特別な事ができるでしょうか？普段やっていないことを災害時にできるでしょうか？

忘れてはならないのは、日常生活における心がけや態度です。心を落ち着けて生活し、様々な思いや計^{はか}らいにとらわれずに生きること、「デマ」に惑^{まど}わされず、真^{みきわ}実を見極める力を持つこと、これこそが何よりの防災への備えだと、思うのです。

— 終 —